

# 障害児者や要配慮者が 災害時に命を守るための情報を 贈る・受け取る プロジェクト

いま、この瞬間から  
あなたも参加できる!



NPO 法人  
輪 母 ネットワーク



災害時

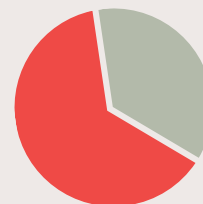
障害者・要介護者の

死亡率が住民全体の2倍高い

ことを知っていますか？



- 障害者の死亡率は住民全体の死亡率の**2倍** (東日本大震災) ※1
- 地域の避難訓練で**障害者への配慮がなかった**と答えた率 **62.3%** ※2
- 要支援者の災害時個別計画未作成は **72.4%** ※3



参考：※1 2019年 ※2※3 2021年 それぞれNHK調査アンケート



# 障害のある人・配慮が必要な人と家族のための 防災ワークブック



2017年  
作成

2024年  
リニューアル

フルカラー 全28P





支援が必要な人の災害時に備える

## 連絡・コミュニケーション

### こんな困りごとがあるかもしれません

様々な事情で、コミュニケーションにもサポートを必要とする人がいます。誰もが同じ言葉を理解し、文字が読めるとは限りません。

- 視覚情報** 目からの情報が伝わりにくいです。普段はコンタクトレンズやめがねを利用している人も、災害時にめがねを失くし、生活が困難になることもあります。
- 聴覚情報** 耳からの情報が伝わりにくいです。音の聞き取りに困難のある聴覚障害や、複数の音が混じる場所での聞き取りが難しい聴覚処理障害の人もいます。
- 言葉の理解** 一般的な言葉での説明では理解が難しい人がいます。知的障害の方や、外国語での説明が必要な人にも配慮が必要です。
- 紙類** 言葉の聞き取りはできませんが、話すことができません。無理に話させようとせず、本人に負担の少ないコミュニケーション手段が必要です。



### 知ってほしい

#### 防災知識

- 災害時や避難が必要な時に、各個人に合わせて支援に必要な内容を事前に市町村や支援関係者間で共有する「個別避難計画」の作成が各自治体で進んでいます。

### 調べてみよう

#### 自分のまち

- 行政や自治体では、「やさしい日本語」による情報発信や、活用できるイラスト素材の配布が進んでいます。探してみましょう。
- 自治体によっては、アプリやSNSで防災無線の内容を配信しているところがあります。事前に確認しておきましょう。

### 当事者と家族の不安

- なにが起こっているのか、どうしたらいいのかわかることが難しいと思います。
- 本人が状況を理解できない中で、防災面も心配です。
- 聴覚障害のため避難所内でのアナウンスが聞こえません。
- 家族が死亡していたり大怪我をしていたときに障害のある我が子のことはどう伝えたいの…？



### こんな対策をしています

- 強い場所で手話や文字が見られるように筆談の道具と合わせて懐中電灯も用意しました。
- 本人が説明することができないので、持ち出し袋に障害状態と必要な支援の説明を書いた緊急時SOSカード（巻末付録）と、家族の写真をいれました。
- 通学・通所中に災害が起こった時のために、自分の居場所を知らせる方法を練習しています。
- 家庭だけでなく、学校や通所施設に障害と支援に関する情報の保管と共有をお願いしました。
- 言葉での理解が難しいので、絵カードや指差しボードを持ち出し袋に入れてあります。



## 我が家の防災計画の作り方

**START**

**STEP1** 自分の家を知る・家族を知る  
まずは、自分の家の点検をしましょう。  
家族の情報もまとめましょう。

**STEP2** 自分のまちを知る  
住んでいるまちによってそれぞれのリスクがあります。  
自分のまちを知りましょう。

**STEP3** 災害時の行動を決める  
災害発生時の行動を事前に決めておくことで、いざという  
時にスムーズな避難行動につながります。

**STEP4** 備蓄を考える  
家族とまちを知ること、我が家に必要な備蓄もみてき  
ます。定期的に確認しましょう。

**STEP5** 見直す・パワーアップする  
見直しを繰り返すことで、日々の備えも  
パワーアップしていきます。

**LOOP!**  
くりかえし!

NPO法人輪母ネットワーク



一般的な防災知識も盛りだくさん



受け取りました  
ありがとうの声



発行部数 8800部以上

## 配布先

障害当事者と家族・自治体・児童発達支援  
放課後等デイサービス・就労支援施設  
地域活動協議会・連合町会・大阪府老人クラブ連合会・  
学校園・NPO団体・子育て支援団体  
防災リーダー・地域女性防災リーダー

防災研修・講座の提供もしています

500円



従来型の課題

費用負担で  
踏みとどまる例が多数発生

命を守る情報に“経済格差”があってはいけない



# いま、この瞬間から あなたも参加できる 無償配布プロジェクトを 大規模展開



# 障害児者や要配慮者が 災害時に命を守るための情報を 贈る・受け取る プロジェクト



NPO 法人  
輪 母 ネットワーク



あなたにできること ①

この冊子を誰かに「手渡す」

10冊以上からの無償送付

受け取った人がさらに手渡す

- ・ 情報の拡散
- ・ コミュニケーションの促進

印刷・発送



あなた



共助の  
後押し

# 無償配布受け取り申し込みは こちらから



100冊以上も  
対応しています

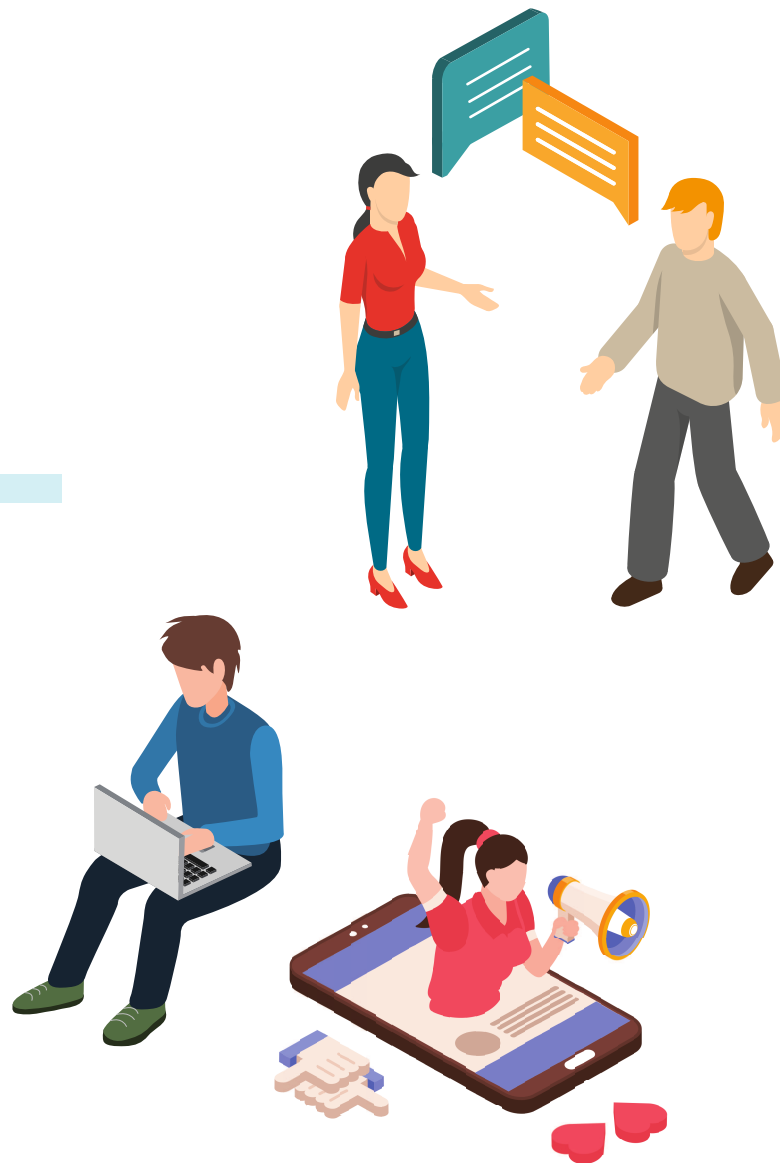


## あなたにできること ②

### この冊子を誰かに「教える」

- ・ SNSでの呼びかけ
- ・ 口コミ共有

情報の  
提供





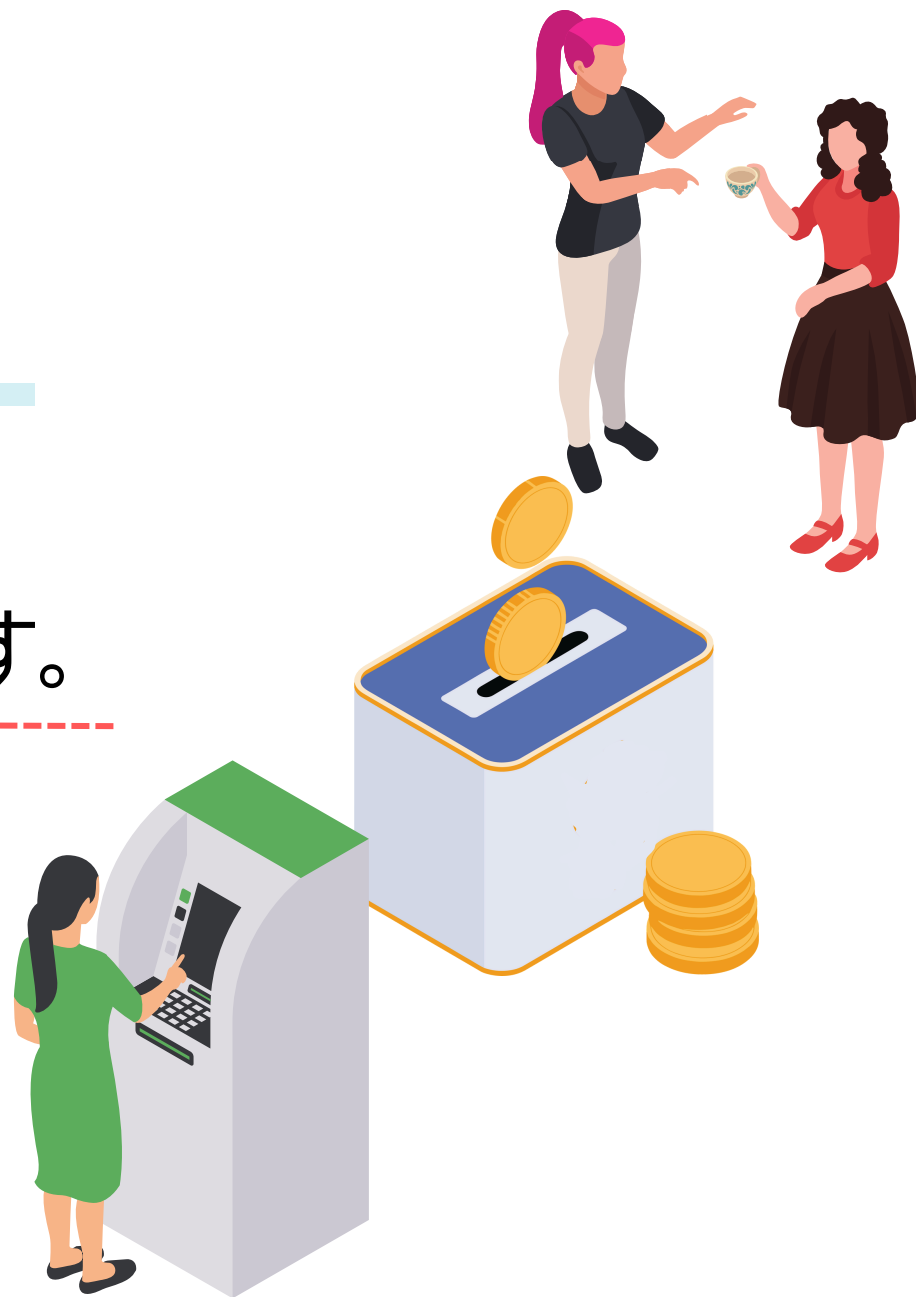
あなたにできること ③

コーヒー 1 杯分の寄付をする

印刷費・配布費ともに、  
すべて寄付でまかなわれています。

---

資金  
サポート



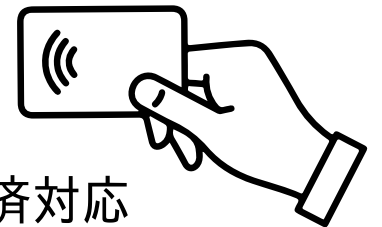
# サクッと簡単！オンライン寄付は こちらから



防災ワークブック専用  
寄付窓口



- カード決済
- オンライン決済対応
- ワンコインからOK



# ③ 企業・団体向け大口寄付プラン

障害のある人・配慮が必要な人と家族のための

## 防災ワークブック

障害や必要な配慮に合わせた防災計画を作るための情報ブック。  
いざという時のために持ち歩ける『緊急時SOSカード』付き  
フルカラー 全28P



**Thanks Supporter枠** 横17cm×縦8cm

プロジェクトに参加してくださった感謝を込めて  
サポーターのお名前・ロゴ等を掲載します。

＼ 企業・団体向け ／

## まとめてサポートプラン

まとめてのサポートによってすぐに100部以上の  
印刷と配布が可能になるプランです。印刷した冊子  
は自社・自団体の配布や研修での利用も可能です。

背表紙に  
お名前・ロゴを  
単独掲載

社会貢献事業  
としてPR可能

Webサイトに  
支援者として  
お名前を掲載

配布方法も選択できます

自社・自団体で配りたい  
指定した場所・施設に届けてほしい



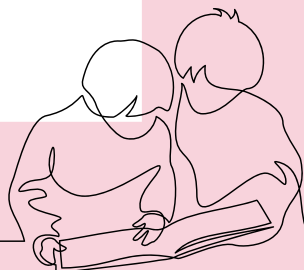
# 障害児者や要配慮者が 災害時に命を守るための情報を 贈る・受け取る プロジェクト



# 輪母ネットワークは、収益事業や受託事業を持たない 完全非営利・寄付型のNPO法人です。

制度の隙間に手を伸ばし、既存の社会課題に新しい解決を提案するため、  
私たちは、あえて寄付だけで**活動するチャレンジ**を続けています。

Thanks  
Supporter!



NPO 法人  
輪母ネットワーク





# サクッと簡単！オンライン寄付は こちらから



NPO法人 輪母ネットワーク  
応援窓口



- カード決済
- オンライン決済対応
- ワンコインからOK

